

提携米通信

2020年3月号・黒瀬農舎



庭の「秋田蒨」 2020.2.10撮影
節分過ぎにもうフキノトウが大きく顔を
出しました。この暖冬、勘が狂います。

コロナウイルスなど心配です。どうぞご自愛下さい。

今冬は、クリスマスも、年末年始も、雪国秋田に雪がなく、大寒になっても雪景色になりません。月が変わり、一番寒い時期に当たる2月に入り「節分」を迎えても、雪が降りません。

雪のないまま、小春日和のような温かい陽射しの日や、梅雨時期の雨のような豪雨の日など、冬とは思えないままで、先月2月は終わりました。

ところで、毎年夏場の栽培期間中の他に冬にも、有機の生産者が集まって、稲作研究会を行っています。今年の冬の部は、2月上旬に行いました。

特に天候に左右されるお米作りでは、最近の天候不順にどう対応するか、中でも、農薬などで化学的なコントロールを行わない有機栽培では、天候不順に多発する病害虫激発対策が一番の関心事ですが、なかなか難しい。

今年の研究会では、有機肥料関係の技術者に加えて、昨年の農業技術10大ニュースのトップに選ばれた新式のイネ種粉消毒の共同開発に携わった県立大学の先生を招きました。

今まで、農薬を使わない種子消毒は、60℃のお湯に10分浸漬する「冷水温湯浸法」でしたが、これを、通常は15%前後である種粉水分を、9%以下に低下させる前措置をした後に、65℃10分の温湯処理を行うと、高温による発芽障害もなく、ほとんどの病原菌が淘汰できることが判明したとのこと。

この中で、特に興味深かったのは、処理時間を10分ではなく、5分や7分にすると、無処理よりも病気の発生が増えるデータが散見された点です。

これは、各種病原菌の拮抗によって、ある程度抑えられていた特定病原菌が、中途半端な殺菌によって、キリキリ生き残った特定病原菌をかえって大繁殖させるからのようだという。

これは、イネの消毒に限らず、いま世間を騒がせている、コロナウイルスの対策時にも気をつけねばならないメカニズムのようです。

提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大湯村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

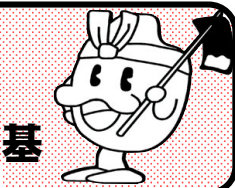
TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887

E-mail: akita@kurose.com

Web:

提携米 黒瀬農舎

検索



★定期購入の場合も、変更や前倒しの出荷、休止はいつでも対応いたします。
変更や休止は次のお米のお届けの5日ほど前までにご連絡下さい。

★お米のご贈答利用も宜しくお願いたします。

★電話は土日祝日も含めて朝8時～夜8時頃まで対応致します（自宅兼事務所）。但し、電話受付の専任スタッフはいないため作業中や外出などで留守番電話での対応とすることがあります。ご了承をお願いします。

また、メールもぜひご利用下さい。なおメールは原則すべて返信していますので、返信メールが届かない際は自動的に迷惑メールとなっている可能性もあるので迷惑メールの確認やメールの設定をご確認下さい。

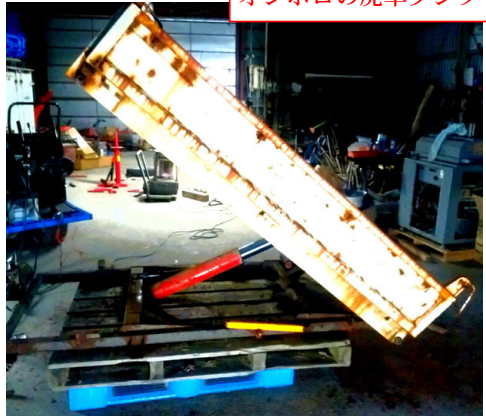
暖冬は心配ですが、冬の作業ははかどりました。

先月号で紹介した、今年冬の「大作」籾殻運搬投入機の製作奮闘記・その後。

今までだと冬の倉庫は、ほぼ毎日日中の最高気温は0℃以下。寒さで作業効率が落ちますが、今年は、ほぼ毎日、まるで春のような日々の異常気象。お陰で、鉄鋼作業はおおいにはかどりました。



中古土木用ダンプ運搬車



オンボロの廃車ダンプ

右のボロ軽トラのダンプを分解し、底板に角パイプを溶接して2畝×3畝に大きく拡大し、左の1トン積みの土木用ダンプ運搬車の上に、直角に載せ、高さ2畝の枠を組み付けた籾殻運搬・投入機の力作は、下の写真のように、ほぼ出来上がりました。

この籾殻運搬投入機は、12Vの電動油圧ポンプで、1トン余りの能力のある油圧シリンダーを動かし、暗渠用の溝に、籾殻を充填させる構想です。

田圃で、実際にうまく使えるかどうかは、使うまで定かではありません。

でも、今のところ、ほぼ期待した以上の出来映えです。まさに自画自賛。

田圃に持ち込んだ場合、重心が高い上に、籾殻は軽いとはいえ、玄米60俵分・約60アール（反）の籾殻が入る容積があり、総重量は1トンを超えそうなので、下のベースの運搬車では、小さ過ぎてバランスが取れるかどうか、少し心配です。

万一安定性が悪い場合は、下のベース車を別の車に変更できる構造にはしてあります。

次の作品は、65℃の温湯消毒ができる装置と、30年余りに作って老朽化した発芽機を、種蒔きまでに製作しようと、目下材料集めに精を出しているところです。



完成！籾殻運搬投入ダンプ 2020.2.25撮影

ほぼ期待通りの出来映えですが、田圃に持ち込んで大丈夫かどうかは、お楽しみ・・・。